

2023 年度



医療法人社団シャローム

年 報

2023 年度

(2023 年 4 月～2024 年 3 月)

令和 5 年度

(令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月)

～ 巻頭言 ～

医療法人社団シャローム 理事長 鋤柄 稔

この一年間に賜った、患者様を含めた地域住民と外部の医療及び介護施設からのご支援、ご鞭撻に感謝いたします。また、日々頑張ってくれた全ての職員の労をねぎらいたと思います。

2023年度を振り返りますと、コロナ感染の対応に追われたのは前年までと同じですが、年度末に至ってようやくその終わりが見えてきました。“ほっと一息と“言いたいところですが、医師の働き方改革に対する対応や、病院の財政状況を鑑みて今後の方向付けを模索するという新たな大きな課題が残っております。これらの対応や解決策模索は次年度にも引き継がれるわけですが、職員一同で難問に立ち向かい解決したいと思う次第です。このような中での年報作成です。年報は、病院、法人の過去1年間のまとめです。各部署（科）の責任者が、担当部署で行った（行えた）仕事内容を量的、質的にまとめたものです。作成者は、時には過去の年報資料と照らし合わせます。できあがった年報全てを綿密に閲覧する職員の数は少ないかも知れません。しかし、年報作成に関わる職員数は少なくありません。年報作成の過程で、それぞれが感じる反省点や将来へのビジョンが生まれるはずで、反省点やビジョンを抱いた職員は、今後の病院運営に、役立つ発言、行動で寄与してくれるものと期待しています。

”外部への情報開示“は、法人、病院の大切な責務の一つです。年報を通して、シャロームが何を行ってきたのか、今後何をやろうとしているのかを可能な限り公開することで、シャロームと関わりのある患者さん、地域住民、関連医療及び介護機関との距離が短くなり、親しみを覚えて頂けるはずで、それも質の高い医療、ケアの一つと言えるでしょう。有用な年報になることを願っています。

医療法人社団シャローム シャローム病院 院長 狩野 契

2023年度のシャローム病院の目標の中核は、『仕え合い、助け合い、心を合わせて、一人の患者さんと大切にしよう』でした。

仕えることは、聖書の教え中のとても大切なことです。キリストが弟子たちの足を洗われたことに仕えること本質を見出すことが出来ます。上司は部下に部下は上司にそして同僚同士が互いに仕え合って共に働かせていただく。そしてスタッフ一人一人が目の前にいる一人の患者さん大切に日々の働きをさせていただく。それが「シャローム」（平安）に繋がっていくことを確信します。

「年報」は単に1年ごとに出される報告書にすぎません。しかし、この報告書の一字一句の中に一人一人のスタッフが心を込めて働いたことの証がなされているのです。

ですから、皆様一人一人に「ありがとう」と感謝のことばを送ります。

さて、具体的な目標は達成されたのでしょうか？

- ① 職員の声を尊重します。：継続課題です。
- ② 部署間壁を低くする：継続課題です。
- ③ 経営会議は病院幹部にお任せください
昨年末、第一回の会議がなされ、毎月、月ごとの収支の報告がなされ、経営改善のために活発な議論がなされています。
- ④ 理念に基づいた人事評価制度の確立：継続課題です。
- ⑤ 入院ベッドについて（まず1床の増床を目指す）：達成できたと思います
- ⑥ 医師の働き方改革に備える
勤怠管理の実施、宿日直許可申請を無事に終えることが出来ましたが、非常勤医師の常勤先での勤務時間のカウントなど調整が必要な課題は残っています。
- ⑦ 新型コロナ対策に学んだ感染対策の継続：概ね達成できたと思います。
- ⑧ 中長期ビジョンについて三頭会議での検討を開始します。：継続課題です。

2023 年度 医療法人社団シャローム運営指針

(1) シャロームの原点に戻って

(2) 持ち分のない医療法人の認識

(3) 発想の豊かな転換

(4) 2024 年問題(医師の働き方改革)への着実な準備

(5) 情報開示と円滑な伝達(職員と外部に)

(6) 職員満足度の更なる向上

2023 年度 シャローム病院 目標

姿勢目標: 仕え合い、助け合い、心を合わせて、一人の患者さんを大切にしよう

(1) 職員の声を尊重します

(2) 部署間壁を低くする

(3) 経営会議は病院幹部にお任せください

(4) 理念に基づいた人事評価制度の確立

(5) 入院ベッドについて (まず 1 床の増床を目指す)

(6) 医師の働き方改革に備える (2024 年 4 月 1 日から)

(7) 新型コロナ対策に学んだ感染対策の継続

(8) 中長期ビジョンについて三頭会議での検討を開始します

～理念、方針のバックボーンは聖書に拠る～

【理念(表題)】

私たちは聖書の教えに基づき、病める人々のご家族の痛みに寄り添い、心を合わせて、優しく温かい医療に努めます。

聖句 (イザヤ書 26 章 3 節)

あなたは全き平安をもって ころごしの堅固な者を
守られる
彼はあなたを信頼しているからである

【基本方針】

1. そのままに、あるがままに
2. あなたと私の Shalom (平安) (Shalom の共有)
 - ・患者中心主義 (Patient-Oriented) のもと、安全と安心な満足度の高い医療提供を行い、質の高い医療水準を維持するように努めます。
 - ・患者さんへの十分な説明、患者さんへの情報開示、セカンドオピニオンへの協力を努めます。
 - ・個人情報保護、患者さんの権利を尊重すること、患者さんからの声に耳を傾けることに努めます。
 - ・私どもは以下の方針を念頭におき患者さんへのケアにあたるよう努めます。
 - (1) 大切なのはどれだけ多くのことをやったかではなく、どれだけ心を込めてやったかである。
(マザーテレサ)
 - (2) 患者が主人で我々は召使である。(日野原 重明)
 - (3) ホスピスは建物ではない、哲学である。(シシリー ソンダース)
 - (4) Think globally act locally
 - (5) 職員全員参加によるケア提供
 - (6) 許し合いとチームワーク
 - (7) 謙虚さ
 - ・上記の理念・基本方針に基づき患者中心主義を貫く。
 - ・患者と職員の双方にシャロームが与えられる施設を目指す。

【使 命】

在宅医療、緩和医療、救急医療を特性とし、地域のニーズに呼応した多岐にわたる医療を行う。

【スローガン】

あなたのシャロームは私たちのシャロームです。

Your Shalom is Our Shalom.

病院概要

診療科

一般外来(内科、外科、禁煙外来)、皮膚科、緩和ケア内科、乳腺内科、小児科、循環器内科、神経内科

その他〔人間ドック、健康診断、乳がん検診、各種予防接種、リハビリテーション科、透析センター他〕

検査機器

レントゲン、マンモグラフィー、CT、人工透析機器、超音波検査、心電図、上部・下部内視鏡

病床数 (2024年3月31日現在)

区分	許可病床	稼働病床	施設基準
一般病床	25床	24床	急性期一般入院基本料4 人員配置10対1
緩和ケア病床	30床	22床	緩和ケア病棟入院料2 人員配置7対1
計	55床	46床	
透析病床		29床	〔透析センター1〕20床 〔透析センター2〕9床

診療体制 (2024年3月31日現在)

区分	常勤医師	非常勤医師	備考
一般外来	6名	2名	
乳腺外来	1名		
緩和ケア科	4名		うち2名:一般外来と兼任 1名:病棟担当
皮膚科	1名		
小児科	1名	3名	
神経内科		1名	
循環器内科		1名	
その他		10名	当直対応9名・透析回診1名

※全ての常勤医師は訪問診療に携わっており、病棟診療も対応している。

外来診療、検査、手術(外来・入院)、救急対応、透析、病棟診療、多職種カンファレンス、

在宅及び施設訪問診療、学校健診、企業健診(産業医)、比企地区市町村健診、にっさい医院診療

シャローム病院の特徴

在宅医療、緩和医療、救急医療を特性とし、地域のニーズに応じた外来診療、訪問診療、訪問看護(24時間在宅対応体制)を行う。

【埼玉県第二次保健医療圏:川越比企保健医療圏に属する】

(構成市町村) 東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、吉見町、ときがわ町、鳩山町、東秩父村、川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町

職員数 (2024年3月31日現在)

常勤 148名・非常勤 80名

単位:人

職 種	常勤	非常勤	職 種	常勤	非常勤
医師	10	19	管理栄養士	1	0
看護師	57	21	薬剤師	4	0
准看護師	3	4	医療福祉相談員	3	0
放射線技師	2	0	チャプレン	1	0
臨床検査技師	3	1	ボランティアコーディネーター	0	1
臨床工学技士	7	2	事務職員	31	21
理学療法士	4	0	看護補助者	19	6
作業療法士	1	0	守衛	1	1
運転手	1	4			

医療連携**【 連携施設 】**

- ・埼玉医科大学病院提携医療機関 ・埼玉医科大学総合医療センター医療連携協力施設
- ・埼玉医科大学国際医療センター医療連携施設 ・埼玉県立循環器・呼吸器病センター連携医療機関
- ・自治医科大学附属さいたま医療センター医療連携協力施設

【 東松山市内の医療機関病院 (7 施設) 】

埼玉成恵会病院、東松山病院、東松山医師会病院、東松山市立市民病院、大谷整形外科病院
武蔵嵐山病院、シャローム病院

認定・指定等

- ・保険医療機関 ・二次救急告示病院(比企地区輪番:金曜日担当) ・労災保険指定医療機関
- ・生活保護指定医療機関 ・在宅療養支援病院(機能強化型・単独型)
- ・在宅難病患者一時入院事業受入機関 ・指定医療機関(難病患者) ・結核指定医療機関
- ・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関 ・指定小児慢性特定疾病医療機関
- ・指定自立支援医療機関(精神通院医療:小児科)(育成医療・更生医療:腎機能)
- ・埼玉県地域リハビリテーション協力医療機関 ・埼玉県指定診療・検査医療機関(2024.3.31 終了)
- ・日本医療機能評価機構認定病院

研修・指導施設

- ・臨床研修協力施設(厚生労働大臣認定) ・日本外科学会外科専門医制度関連施設
- ・埼玉医科大学病院臨床研修協力施設 ・埼玉医科大学医学部臨床実習指定学外施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設 ・埼玉医科大学国際医療センター臨床研修協力施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設

会 員

- ・日本ホスピス緩和ケア協会正会員施設 ・NCD 施設会員

建物の概要

区分	旧 棟	新 棟
4階	多目的ホール、医局、医師当直室、看護部長室、看護師長室、総務課、診療情報管理室 医療福祉相談室(事務所)	医局
3階	一般病棟、談話室、浴室、カンファレンス室 スタッフステーション	ボランティア室、相談室、チャプレン室、 家族宿泊室、家族浴室、リハビリ室、 研修室、屋上庭園
2階	透析室、透析ダイルーム、透析機械室、手術室、 中央材料室、診療材料室、図書室、薬剤科	緩和ケア病棟、ダイルーム、浴室(介護 浴・機械浴)、第2透析室
1階	医事課第1受付、外来診察室、採血室、放射線 科、生理機能検査室、内視鏡室、点滴処置室、 測定室、発熱外来、理学療法室、訪問看護ステー ション、介護支援事業所、ヘルパーステーション	医事課部門、医療福祉相談室、救急 室、皮膚科、小児科、授乳室、守衛室
地階	栄養科、厨房、職員食堂、休憩室、職員更衣室	

併設施設

- ・訪問看護ステーションシャローム
- ・介護支援事業所シャローム
- ・ヘルパーステーションシャローム

分院

- ・シャロームにつさい医院

医療法人社団シャローム シャローム病院 沿革

年 月 日	事 柄
1991 (平成 3) 年 3 月	冊子「キリストの医院を始めるにあたって」発行
1993 (平成 5) 年	シャローム債発行
1994 (平成 6) 年 4 月 1 日	シャローム鋤柄医院開設 (19 床)
1994 (平成 6) 年 10 月	法人化 (医療法人社団シャローム)
1999 (平成 11) 年 4 月 1 日	訪問看護ステーション シャローム開設
2000 (平成 12) 年 4 月 1 日	介護支援事業所 シャローム開設 ヘルパーステーション シャローム開設
2005 (平成 17) 年 12 月	有償移送サービス開始 機能強化型在宅療養支援診療所 (24 時間体制) となる 特養配置医 2 施設 東松山ホーム (東松山市)・吹上苑 (鴻巣市)
2004 (平成 16) 年 1 月 1 日	株式会社正木製作所の産業医となる
2006 (平成 18) 年 4 月 1 日	電成興業株式会社の産業医となる
2006 (平成 18) 年 12 月	増改築、全室個室化、透析室開設、理学療法室開設、電子カルテ 導入
2007 (平成 19) 年 3 月 1 日	指定自立支援医療機関 (精神通院医療) として指定される
2007 (平成 19) 年 4 月 1 日	東京農大第三高校学校医となる
2007 (平成 19) 年 6 月 1 日	指定自立支援医療機関 (育生・更生医療) として指定される

2007 (平成 19) 年 6 月 1 日	訪問リハビリテーション開始
2007 (平成 19) 年 9 月 13 日	埼玉医科大学病院臨床研修協力施設に指定される
2011 (平成 23) 年 4 月 1 日	シャロームにつさい医院開設 (坂戸市)
2012 (平成 24) 年 4 月 1 日	埼玉医科大学病院提携医療機関に指定される
2012 (平成 24) 年 8 月 1 日	埼玉医科大学国際医療センター医療連携施設に指定される
2013 (平成 25) 年 4 月	病院給食・清掃直営から委託となる
2013 (平成 25) 年 10 月 1 日	有床診療所から病院 (病床 55 床) へと移行する シャローム鋤柄医院からシャローム病院に名称を変更する 在宅療養支援病院 (強化型) となる
2014 (平成 26) 年 2 月 1 日	外来呼び出しシステム導入
2014 (平成 26) 年 8 月 1 日	日本消化器外科学会専門医指定修練施設に指定される
2014 (平成 26) 年 9 月 9 日	第二次救急告示病院 (救急指定病院) の認定を受ける 比企地区病院郡二次救急輪番制のうち木曜・日曜を担当
2014 (平成 26) 年 11 月	MCA無線購入 (埼玉県のMCA無線設置施設が 46 施設となる)
2014 (平成 26) 年 12 月 4 日	透析医療を考える会参加開始 埼玉県のMCA無線情報伝達訓練に参加開始
2014 (平成 26) 年 12 月 15 日	第 1 回埼玉県全域 E M I S 入力訓練参加
2015 (平成 27) 年 1 月 1 日	日本外科学会外科専門医制度関連施設に指定される
2015 (平成 27) 年 1 月 1 日	指定医療機関に指定される 指定小児慢性特定医療機関に指定される
2015 (平成 27) 年 4 月 1 日	病院組織によるボランティア活動開始
2015 (平成 27) 年 5 月 1 日	埼玉医科大学総合医療センター医療連携協力施設となる
2015 (平成 27) 年 7 月 1 日	透析患者送迎が委託から直営となる
2015 (平成 27) 年 7 月 14 日	第 2 透析室運用開始
2015 (平成 27) 年 8 月	守衛業務開始 (夜間、日・祝日日勤)
2015 (平成 27) 年 10 月 1 日	在宅難病患者一時入院事業受入機関となる
2015 (平成 27) 年 10 月 1 日	在宅患者の後方支援ベッド (1 床) 当番開始
2015 (平成 27) 年 12 月 10 日	比企歯科医師会 歯科衛生士による入院患者の口腔アセスメント 事業開始 (埼玉県歯科医師会委託による)
2016 (平成 28) 年 1 月 13・14 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価受審 (初回)
2016 (平成 28) 年 4 月 1 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価合格 認定病院となる
2016 (平成 28) 年 7 月 1 日	緩和ケア病棟開設 ※厚生局の認可 (保険診療)
2016 (平成 28) 年 11 月 1 日	日本ホスピス緩和ケア協会会員施設となる
2017 (平成 29) 年 3 月 31 日	埼玉県域リハビリテーション協力医療機関に指定される
2017 (平成 29) 年 4 月 1 日	比企地区二次救急病院群輪番制のうち日・月・水・木曜を担当
2017 (平成 29) 年 6 月 1 日	検査会社を保健科学より SRL に変更・院内至急検査開始
2017 (平成 29) 年 6 月 17 日	ホスピス講演会「この町のホスピスにやってくる」を主催
2017 (平成 29) 年 7 月 26 日	暖和室しゃろーむ 〜がんと向き合う人の集い〜 開始
2017 (平成 29) 年 8 月 1 日	指定自立支援医療機関 (精神通院医療) に指定される
2017 (平成 29) 年 12 月 1 日	遠隔画像読影システムを構築
2017 (平成 29) 年 12 月 11 日	埼玉県立循環器・呼吸器病センター連携医療機関に指定される
2018 (平成 30) 年 5 月	MCS (メディカルケアステーション) を導入・利用開始
2018 (平成 30) 年 5 月 31 日	NCD (National Clinical Database) 施設会員となる
2018 (平成 30) 年 10 月 17 日	第 2 透析室に 2 台のチェア型ベッドを導入 (合計 27 床)
2019 (平成 31) 年 4 月 1 日	自治医科大学附属さいたま医療センター医療連携協力施設に 認定される
2019 (令和元) 年 10 月 1 日	株式会社ヒシヌママシナリーの産業医となる

2020 (令和2) 年4月22日	埼玉県保健医療部整備課より新型コロナウイルス感染症患者受入れに係る「重点医療機関」の指定を受ける
2020 (令和2) 年4月25日	3階病棟アコーディオンカーテン設置 (感染対策)
2020 (令和2) 年5月11日～12日	新型コロナウイルス軽症患者受入れ体制実施 (4床)
2020 (令和2) 年6月12日	日本消化器内視鏡学会 JED Project 参加施設となる
2020 (令和2) 年8月10日	検体検査室増設 (検査科)
2020 (令和2) 年8月17日	院内PCR検査開始
2020 (令和2) 年9月1日	新型コロナウイルス中等症患者受入れ体制実施 (5床)
2020 (令和2) 年10月15日	「次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について」に基づく埼玉県指定診療・検査医療機関に指定される
2021 (令和3) 年3月9日	社会福祉法人常磐福祉会 (常磐苑) の産業医となる
2021 (令和3) 年4月1日	透析感染症患者受入個室2床開設・1床増床 (計28床) 日本医療機能評価機構 病院機能評価認定更新
2021 (令和3) 年9月1日	ピロティ陰圧ルーム設置
2021 (令和3) 年10月6日	コロナ病棟閉鎖 (7床) (重点医療機関の指定解除)
2021 (令和3) 年10月21日	一般病棟として受入開始
2021 (令和3) 年11月22日	第2透析室1床増床 (計29床)
2021 (令和3) 年11月26・27日	日本医療機能評価機構 病院機能評価受審・更新 (2回目)
2021 (令和3) 年12月8日	第1透析室でもOn-Line透析開始 (第1.2共に可能となる)
2022 (令和4) 年3月18日	鋤柄院長 第10回 日本医師会 赤ひげ大賞受賞
2022 (令和4) 年3月31日	「持ち分無し医療法人」へ移行する
2022 (令和4) 年4月1日	比企地区二次救急病院群輪番制のうち金曜日を担当
2022 (令和4) 年10月19日	社会福祉法人あけぼの学園の学校医となる
2023 (令和5) 年3月18日	LDL吸着療法開始
2023 (令和5) 年3月31日	院長就任式 (初代鋤柄院長から狩野院長へ)
2023 (令和5) 年4月1日	理事長 鋤柄稔・院長 狩野契の新体制となる
2023 (令和5) 年12月1日	生活介護事業所 SMILE JAM の嘱託医となる

会議・委員会一覧

医療法人社団シャローム運営会議

三頭会議

拡大経営会議

医療安全管理委員会

セーフティーマネージャー委員会

院内感染対策委員会

院内感染対策チーム委員会

医療事故調査委員会

医療ガス安全管理委員会

褥瘡対策委員会

栄養管理委員会

緩和ケア運営委員会

暖房室シャローム運営検討委員会

がんリハビリコーディネーター会議

薬事委員会

輸血委員会

医療の質向上委員会

救急診療検討委員会

診療情報管理委員会 / コーディング委員会

診療情報記録委員会

倫理委員会

虐待・暴力対策委員会

衛生委員会

病院勤務医の負担軽減及び処遇改善会議

看護職員の負担軽減及び処遇改善会議

サービス向上委員会

ボランティア活動検討委員会

災害対策委員会

医療機器管理安全管理委員会

院内教育委員会

広報委員会

物品管理委員会

ユニフォーム委員会

予算委員会

職員院内教育・研修の開催

院内教育委員会を中心に、年間を通して様々な勉強会を実施した。今年度は毎年開催している項目に加え、職員の能力開発として管理者育成のための研修や、当院主催の在宅緩和ケアに関する研修会を実施した。

内 容	件数	内 容	件数
医療安全研修会	4	緩和ケア教育プログラム	1
院内感染対策研修会	2	医療の質向上のための研修	1
褥瘡研修会	1	外部 緩和ケアに関する研修	12
個人情報保護研修会	1	外部学会発表・講演	5
倫理研修会	1	シャローム病院主催 地域研修・講演会	1
接遇研修会	1	その他外部主催研修会等への参加	18
運営・管理者・経営・リーダー研修	3	部署内で行われた研修会、自主研修など	20

地域医療・活動への参加

【嘱 託 医】

区 分	法 人 名	所 在 地	期 間 等
産業医	株式会社 正木製作所	東松山市	2004(平成16)年1月1日～
	社会福祉法人えがりて 吹上苑	鴻巣市	2004(平成16)年4月1日～
	電成興業株式会社	東松山市	2006(平成18)年4月1日～
	東京農大第三高校・附属中学校	東松山市	2007(平成19)年4月1日～
	株式会社ヒシヌママシナリー	嵐山町	2019(令和元)年10月1日～
	社会福祉法人常磐福祉会	吉見町	2021(令和3)年3月9日～
学校医	東京農大第三高校・附属中学校	東松山市	2007(平成19)年4月1日～
	かめめ保育園	滑川町	2020(令和2)年7月13日～
	社会福祉法人あけぼの学園 (のもと保育園・あっぷる幼児園・ あぴっくこども園・あけぼの幼児園)	毛呂山町	2022(令和4)年10月19日～
嘱託医	社会福祉法人えがりて 吹上苑	鴻巣市	2002(平成14)年4月1日～
	東松山ホーム	東松山市	2004(平成16)年4月1日～
	あずみ苑東松山	東松山市	2007(平成19)年4月1日～
	シャロームガーデン坂戸	坂戸市	2011(平成23)年8月1日～
	社会福祉法人常磐福祉会 常磐苑	吉見町	2021(令和3)年3月9日～
	生活介護事業所 SMILE JAM	東松山市	2023(令和5)年12月1日～
	上記他 13 施設(計 28 施設)と嘱託医・医療協力機関として契約中		

【医師会活動や各種協議会等への参加】 2023 年度担当

団体名	担当内容	担当者
比企医師会	地域包括ケアシステム担当理事 ・介護保険関係 ・リハビリ関係 ・在宅医療関係	鋤柄 稔 理事長
	災害医療関係	
	救急医療関係	
	がん集団検診医会担当理事 (肝がん)	
比企広域 介護認定審査会	会長	
比企広域 介護認定審査会合議体	委員長	
東松山市介護保険運営協議会	委員	
比企地区在宅医療・介護連携推進協議会	委員	
在宅医療検討委員会	委員長	
災害医療対策委員会	担当理事	
病院部会（救急医療）	運営担当	
埼玉医科大学医学部	客員教授（地域医療）	
東松山保健所 地域災害保健医療調整会議	委員	狩野 契 院長
病院部会（救急医療）	運営担当	
埼玉緩和ケア研究会	世話人	
埼玉県保健医療部医療整備課 ACP 普及啓発講師人材バンク	登録講師	
東松山市就学相談調整会議	委員	中村 小百合 副院長
東松山市医療・福祉連携プロジェクト会議	委員	
滑川町医療的ケア児等支援連絡会議	委員	
東松山地区安全運転管理者協会	理事	長谷部 真一 次長

【地域の検診実施】

<市町村> 東松山市・吉見町・川島町・滑川町・嵐山町・鳩山町・ときがわ町・小川町・東秩父村

<内 容> 乳がん・大腸がん・胃がん・肺がん・前立腺がん・肝炎ウイルス・結核・一般健診

乳幼児健診・認知症検診・人間ドック

【市町村の各種健診実施人数】

乳がん	大腸がん	胃がん	肺がん	前立腺がん	肝炎ウイルス	結核	一般健診
726	388	437	313	125	34	13	2

認知症	人間ドック
64	216

【院外での検診】

項目	内容	担当者
各種検診	乳がん検診（東松山市）	藤内 伸子 医師 鋤柄 稔 院長
	乳幼児健診（東松山市）	中村 小百合 医師

【新型コロナウイルス関連】

<検査件数>

	院外（外注）PCR	院内PCR	抗原検査
2021年度	3714	679	0
2022年度	3052	990	0
2023年度	993	293	115

<当院による新型コロナワクチン接種>

区分	接種回数		
	2021年度	2022年度	2023年度
医療従事者(自院)	297	315	120
医療従事者(他院)	2410	485	48
地域住民	3123	2476	2567
高齢者施設	4098	1268	656
在宅(自宅)	672	302	245
入院	14	18	4
その他	118	540	34
合計	10732	5404	3674

<地域での新型コロナワクチン接種への協力>

集団接種会場	医師派遣回数
吉見町（吉見町民会館）	2
川島町（川島町民会館）	6
鳩山町（地域包括ケアセンター）	2
派遣回数合計	10

認定看護師の活動

患者さんとご家族により良い看護を提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めている。

分 類	人 数	所 属
緩和ケア認定看護師	1名	緩和ケア病棟
がん性疼痛認定看護師	1名	一般病棟

【同行訪問】

「緩和ケア認定看護師」が担当の訪問看護師に同行してお宅を訪問し、療養のサポートをしている。

同行訪問地域	件数	担 当
東松山市	1	片山和美 緩和ケア認定看護師
吉見市	1	
鴻巣市	1	
川島町	1	
合計（2023年度）	4	

【緩和ケア相談等】

「緩和ケア認定看護師」が、患者さん・ご家族のお悩みや心配事、疑問などを伺い、不安な気持ちに寄り添っている。下記の他にも訪問看護ステーションや薬局からの相談電話が多数あり、随時対応している。

相談分類	件数	担 当
外来相談	2	片山和美 緩和ケア認定看護師
外来からのコンサルテーション	9	
遺族ケア	1	
その他相談	3	
その他電話	16	
合計（2023年度）	31	

研修や指導への取り組み

【研修施設の認定】

- ・臨床研修協力施設(厚生労働大臣認定)
- ・日本外科学会外科専門医制度関連施設
- ・埼玉医科大学病院臨床研修協力施設
- ・埼玉医科大学医学部臨床実習指定学外施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・埼玉医科大学国際医療センター臨床研修協力施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設

団体名	担当内容	担当者
埼玉医科大学医学部	客員教授（地域医療）	鋤柄 稔 理事長
埼玉県保健医療部医療整備課 ACP 普及啓発講師人材バンク	登録講師	狩野 契 院長

【研修受入れ実績】

	所属	期間	人数
中学生	東松山市立東中学校 (社会体験チャレンジ事業)	コロナ禍の影響により中止	/
	東松山市立北中学校 (社会体験チャレンジ事業)	コロナ禍の影響により中止	/
	東京農業大学第三高等学校附属中学校 (社会体験チャレンジ事業)	2024年3月11日～13日	2名
看護学生	埼玉医科大学 保健医療部 看護学科 実践応用の看護学実習	2023年9月4日～9月29日	4名
	埼玉医科大学 保健医療部 看護学科 在宅医療（訪問看護）	2023年5月8日～5月18日 2023年5月22日～6月1日 2023年6月19日～6月29日	各2名 計6名
看護師 大学院生	埼玉医科大学	2023年8月7日～8月10日 2023年8月21日～8月24日	2名
聖書学院	東京聖書学院（教員・学生） 講師：チャプリン・鋤柄理事長・狩野院長	2023年10月11日	教員1名 学生5名
医大生	埼玉医科大学医学部6年生	2023年4月3日～4月28日 2023年5月8日～6月3日 2023年6月5日～6月30日	3名
研修医	埼玉医科大学病院(研修医)	2023年9月1日～9月10日 2023年10月1日～10月8日 2023年12月1日～12月10日 2024年1月4日～1月21日	4名

教育・啓発活動

講演等

鋤柄 稔 理事長

【講演座長】

令和5年度 在宅医療関連講演会「ACP 普及啓発の取り組みについて」
2023年9月12日（火）19：30～20：45 紫雲閣 参加者：129名

【講師】

令和5年度慢性腎臓病（CKD）予防教室
2023年9月29日（金）9：30～10：30 吉見町保健センター 参加者：27名

【講演】

令和5年度 東松山市民生委員児童委員協議会 研修会「元気になる健康の話～SUKIGARA 流～」
2023年11月15日（水）13：30～ 参加者：126人

【講師】

授業科目「がん看護学演習Ⅱ 緩和ケア病棟におけるケアとキュアの統合：悲嘆のケア、
グリーフケア、エンゼルケア」
2023年12月14日（木）埼玉医科大学保健医療学部

【講演】

令和5年度 在宅医療研修会
「ACP 普及と多職種連携による地域包括ケアの推進～在宅療養者のQOLの維持・向上を
目指して～」
2024年2月21日（水）19：00～20：30 北本市文化センター 参加者：約200名

狩野 契 院長

【講演】

院内研修「所信表明～理念と方針の継承～」
2023年5月9日、5月15日、5月22日、5月23日、5月29日

【ファシリテーター】

令和5年度人生の最終段階における医療体制整備事業
「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」
2023年10月29日 オンライン開催

【講演】

令和5年度 在宅医療関連講演会「ACP 普及啓発の取り組みについて」
「～ACP 普及啓発人材バンク登録の立場から～ACP 普及啓発講演を行って」
2023年9月12日 19：30～20：45 紫雲閣 参加者：129名

【講演】

令和5年度埼玉県「ACP普及啓発講師人材バンク登録制度」事業

「あなたの思い、託せる人に伝えてみませんか～最期のときまであなたらしく生きるために～」

①2023年9月19日 嵐山町 川島自治会館 ②2024年3月5日 川島町 谷中集会所

参加者：35名

【講師】

令和5年度 東松山市多職種連携研修会「ACP普及啓発について」

2024年1月30日 市役所総合会館

【オープニングメッセージ】

令和5年度シャローム病院在宅緩和ケアオンライン講演会

「CE（臨床工学技士）の「在宅医療と緩和ケア」」

2024年3月22日 オンライン開催

加藤 修一 医師

【講演】

川越市医師会主催 在宅緩和ケア講演会「地域医療における緩和ケア」

2024年2月21日（水）19：00～ オンライン開催 参加者：6名（当院の参加者）

江森 愛子 看護師長

【講師】

キャリア教育教室

2024年3月13日（水）13：45～14：30 東松山市立市の川小学校 第6学年教室

片山 和美 看護師長 ※緩和ケア認定看護師

【講師】

院外研修「疼痛緩和について」

2023年4月～10月の期間、計9施設にて開催 参加者：合計約80名程度

院内研修 第2回緩和ケア教育プログラム研修会

「苦痛緩和のための鎮静～鎮静を行う前に考えよう～」

2023年7月12日（水）13：30～ シャローム病院 3F 研修室 参加者：25名

院外研修「鎮静と意思決定支援」

2024年3月8日 平成の森訪問看護ステーション 参加者：10名程度

院外研修「意思決定支援と家族ケア」

2024年3月19日 吹上訪問看護ステーション 参加者：10名程度

【講演】

令和5年度シャローム病院在宅緩和ケアオンライン講演会

「シャローム病院 CE の「在宅医療と緩和ケア」」

2024年3月22日 オンライン開催 参加者：109名

相良 君映 看護師 ※がん性疼痛看護認定看護師

【講師】

特別講座「ターミナルケア」

2023年12月19日（火） 9:05～12:15 東京都立城南職業能力開発センター

津久田 紀美江 看護師

【講演】

令和5年度 在宅医療関連講演会「ACP 普及啓発の取り組みについて 医療の立場から」

2023年9月12日 19:30～20:45 紫雲閣 参加者:129名

小峰 昭彦 事務長

【講師】

キャリア教育教室

2024年3月13日（水） 13:45～14:30 東松山市立市の川小学校 第6学年教室

金子 和恵 看護師 ※緩和ケア認定看護師

【講師】

市民公開講座「在宅療養の強い味方」～訪問看護のしくみと強み～

2023年10月7日（土） 10:00～11:30 坂戸市文化施設 オルモ3階ホール 参加者:27名

齋藤 翔太 臨床工学技士長

【講師】

院外研修 在宅医療機器使用法説明 2023年4月～10月の期間、計10施設にて開催

【講演】

令和5年度シャローム病院在宅緩和ケアオンライン講演会

「シャローム病院CEの「在宅医療と緩和ケア」」

2024年3月22日 オンライン開催 参加者:109名

福田 舞 リハビリ科長

【講師】

キャリア教育教室

2024年3月13日（水） 13:45～14:30 東松山市立市の川小学校 第6学年教室

堀之内 豊 チャプレン

【講師】

授業科目「がん看護学演習Ⅱ 緩和ケア病棟におけるケアとキュアの統合：悲嘆のケア、グリーフケア、エンゼルケア」

2023年12月14日（木）埼玉医科大学保健医療学部

論文・学会発表等

金子 和恵 看護師 ※緩和ケア認定看護師

【論文】

「一般病棟に入院する認知症高齢者と看護師の相互作用の様相 — 認知症高齢者の安心につながる看護に向けて —」

日本赤十字看護学会誌 24巻1号 p.53-62 2023年9月

県や地域からの表彰

長谷部 真一 次長

多年にわたり交通安全のため尽力し交通事故の防止と交通秩序の確立に貢献した功績は多大であるとして全日本交通安全協会より交通栄誉賞緑十字銅賞の表彰を受けた。(2023年9月19日)



院内行事・イベントなどの記録

◆院長交代 狩野契 新院長へ 2023年4月1日



◆開院記念のお祝い（食事会中止） 2023年4月1日



◆狩野契院長 所信表明 2023年5月9・15・22・23・29日 全5回



◆チャリティバザー 2023年8月29日



◆災害シミュレーション 2023年12月13日



◆キャロリング 2023年12月20日



◆在宅緩和ケア講演会 2024年3月22日

主催：シャローム病院 共催：比叡医師会 ZOOM
在宅緩和ケアオンライン講演会

Clinical Engineer
シャローム病院CE（臨床工学技士）の
「在宅医療と緩和ケア」

CEの在宅医療への関わり 非がん患者の緩和ケア
～CEの目線で～

オープニングメッセージ
【シャローム病院】10分程度
院長 狩野 契

講師【シャローム病院】
透析室長 齋藤 翔太
臨床工学技士

日時 2024年3月22日（金）
19:00～20:00（質疑応答含む）

対象者 医療従事者向け（どなたでもご参加いただけます）

参加申込 QRコードまたは下記URLより
お申込みください。 無料
【URL】<https://00m.in/saobn>
（申込期限 3月21日）

お問合せ シャローム病院 総務課 主任 藤崎さち
TEL 0493-25-2979
【E-mail】s-kensyu@kind.ocn.ne.jp

臨床指標

臨床指標（クリニカルインディケーター）とは



医療の質を数で表し評価する指標のことです。
病院全体の指標や当院の特色を踏まえた独自の指標を設定・分析し、改善を促すことにより、医療の質の向上を図るとともに、患者さんに分かりやすい医療情報を提供することを目的としています。

病院全体に関する指標

外来患者実績

- ・初診外来患者数 初診料を算定した患者数を示しています。
- ・延外来患者数 外来を受審された患者数を示しています。
- ・1日平均患者数 1日平均何人の患者さんが外来受診されたか示しています。

$$\text{1日平均患者数(人)} = \frac{\text{延外来患者数}}{\text{外来日数}}$$

単位:人

		内科	緩和ケア科	皮膚科	乳腺科	小児科	循環器科	神経内科
初診外来患者数	2021年度	8,318	154	2,998	797	916	31	20
	2022年度	9,202	165	2,474	536	736	26	13
	2023年度	8,434	155	2,346	499	755	23	9
延外来患者数	2021年度	57,515	1,005	13,434	1,713	3,957	1,432	889
	2022年度	60,264	1,052	13,570	1,695	3,937	1,217	956
	2023年度	57,849	1,019	14,143	1,706	4,238	1,133	821
1日平均患者数	2021年度	196	7	57	10	14	14	18
	2022年度	205	7	57	10	15	27	20
	2023年度	197	7	62	10	15	26	17

		2021年度	2022年度	2023年度
合計	初診外来患者数	13,234	13,152	12,221
	延外来患者数	79,945	82,691	80,909
	1日平均患者数	316	341	334

透析患者実績

外来、入院で透析実施した数を示しています。

単位:人

	2021年度	2022年度	2023年度
外来患者数	11,537	10,579	10,859
入院患者数	141	117	188
合計	11,678	10,696	11,047

- ・HD (血液透析) 半透膜を介して血液と透析液を接触させ、拡散の原理によって不要な水分や老廃物を除去する方法です。
- ・online HDF (血液ろ過透析) 大きなサイズの物質の除去に優れるHF(血液ろ過)と、小さなサイズの物質の除去に優れるHDの欠点を補うような特徴をもつ方法です。

単位:人

	2021年度	2022年度	2023年度
HD	7,898	312	202
online HDF	3,498	10,256	10,799
offline HDF	352	6	0
合計	11,748	10,574	11,001

- ・CART
(腹水ろ過凝縮再静注法) 腹水をバックに取り出し、その後ろ過器を用いて細菌や癌細胞等を除去した後、濃縮器で除水を行い、アルブミン等の有用な物質を濃縮して再び体内に点滴で戻す方法です。
- ・PTA
(経皮的血管拡張術) 内シヤント血管の狭窄部に、風船のついたカテーテルを、挿入し、そこに生理食塩水を注入し膨らませることによって狭窄部を拡張する手術です。

単位:人

	2021年度	2022年度	2023年度
CART	7	8	23
PTA	39	33	38
合 計	46	41	61

当院全体での看取り件数

当院医師が最期を看取った件数を示しています。

単位:人

		2021年度	2022年度	2023年度
悪性腫瘍	自宅	99	88	75
	施設	1	11	6
	当院	174	221	240
それ以外	自宅	26	29	27
	施設	66	65	64
	当院	22	65	75
合 計		388	479	487

高齢者施設で往診し最期を看取った件数を示しています。

単位:人

	2021年度	2022年度	2023年度
東松山ホーム (東松山市)	9	7	13
吹上苑 (鴻巣市)	26	33	38
シャロームガーデン坂戸 (坂戸市)	8	9	3
常磐苑 (吉見町)	12	13	12
その他施設	12	7	4
合 計	67	69	70

手術件数

手術室で行われた件数と麻酔使用別の件数を示しています。

単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度
緊急手術	0	0	1
悪性腫瘍手術	0	0	0

麻酔別 単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度
全身麻酔	1	3	0
腰椎麻酔	6	22	9
局所麻酔	7	11	2

手術項目別 単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度
鼠径ヘルニア手術	5	18	9
腹壁癒痕ヘルニア	0	1	0
陰嚢水腫手術(その他)	0	1	0
ミリガン・モーガン手術 結紮術	1	0	1
内痔核根治術(PPH)	1	1	0
内痔核根治術(PPH以外)	0	4	1
中心静脈注射用植込型カテーテル設置(四肢)	0	1	0
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm以上6cm未満)	1	0	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm未満)	3	6	0
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径4cm以上)	1	0	0
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径2cm未満)	1	4	0
乳腺腫瘍摘出術(長径5cm未満)	1	0	0
合計	14	36	12

・クリニカルパス運用件数

手術を受けられる患者さんの入院から退院までの予定を解りやすくスケジュール表のようにまとめた計画書のことです。

単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度
鼠径ヘルニア手術	4	16	7
痔核手術	1	5	1
合計	5	21	8

・24時間以内の再手術率

手術終了後24時間以内に再手術を実施した割合を示しています。

$$\text{24時間以内の再手術率(\%)} = \frac{\text{24時間以内の予定外再手術件数}}{\text{総手術件数}}$$

・術後の肺塞栓発生率

術後に肺塞栓症(血栓が肺動脈に詰まり、呼吸困難や胸痛を引き起こす疾患)を発生してしまった患者さんの割合を示しています。

$$\text{術後の肺塞栓発生率(\%)} = \frac{\text{術後肺塞栓発生件数}}{\text{手術を受けた退院患者数}}$$

・手術開始1時間以内の予防的抗菌剤投与率

手術部位感染を予防する対策の一つとして手術前後の抗菌薬投与があり、このため手術開始1時間以内に適切な抗菌薬を投与した割合を示しています。

$$\text{手術開始1時間以内の予防的抗菌剤投与率(\%)} = \frac{\left[\text{手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与された退院患者数} \right]}{\text{手術を受けた退院患者数}}$$

・クリニカルパス使用率

パスが適用された割合を示しています。

$$\text{クリニカルパス使用率(\%)} = \frac{\text{クリニカルパスを使用した外科退院患者数}}{\text{手術を受けた退院患者数}}$$

単位: %

	2021年度	2022年度	2023年度
24時間以内の再手術率	0	0	0
術後の肺梗塞発生率	0	0	0
手術開始1時間以内の予防的抗菌剤投与率	50	64	83
クリニカルパス使用率	71	87	72

入院患者実績

- ・在院患者延数 毎日24時現在在院している患者数の合計を示しています。
- ・新入院患者数 入院した患者数の合計を示しています。
- ・退院患者数 退院した患者数の合計を示しています。
- ・平均在院日数 入院してから退院するまでの期間が平均で何日かを示しています。

$$\text{平均在院日数(日)} = \frac{\text{年間在院患者延数}}{(\text{年間新入院患者数} + \text{年間退院患者数}) \div 2}$$

- ・予定入院患者数 他院からの転院や手術等の予約をして入院した患者数の合計を示しています。
- ・緊急入院患者数 救急搬送されての入院や外来診療時に処置等が必要で緊急入院した患者数の合計を示しています。
- ・病床利用率 病床がどの程度、効率的に稼働しているかを示しています。

$$\text{病床利用率(\%)} = \frac{\text{年間在院患者延数}}{\text{年間病床延数}} \times 100$$

- ・病床稼働率 運用病床に対して患者さんがどのくらいの割合で入院しているかを示しています。

$$\text{病床稼働率(\%)} = \frac{\text{年間患者延数} + \text{年間退院患者数}}{\text{年間病床延数}} \times 100$$

- ・在宅復帰率 当該病棟においての在宅復帰率を示しています。

$$\text{在宅復帰率(\%)} = \frac{\left(\begin{array}{l} \text{該当する病棟から、自宅又は自宅以外の居宅へ} \\ \text{退院した患者数} \end{array} \right)}{\left(\begin{array}{l} \text{退院患者のうち、死亡退院・転棟・再入院患者を} \\ \text{除いた患者数} \end{array} \right)} \times 100$$

- ・死亡率 病院内で死亡する患者さんの割合を示しています。

$$\text{死亡率(\%)} = \frac{\text{年間死亡退院患者数}}{\text{年間退院患者数}} \times 100$$

		2021年度	2022年度	2023年度
在院患者延数(人)	一般病棟	2,445	6,207	6,713
	緩和ケア病棟	7,474	6,591	7,031
新入院患者数(人)	一般病棟	230	462	551
	緩和ケア病棟	281	262	270
退院患者数(人)	一般病棟	222	452	552
	緩和ケア病棟	287	261	268
平均在院日数(日)	一般病棟	11	14	13
	緩和ケア病棟	27	25	27
予定入院患者数(人)	一般病棟	69	192	202
	緩和ケア病棟	149	105	107
緊急入院患者数(人)	一般病棟	157	271	348
	緩和ケア病棟	120	97	94
病床利用率(%)	一般病棟	27	68	73
	緩和ケア病棟	68	60	64
病床稼働率(%)	一般病棟	29	73	79
	緩和ケア病棟	71	63	66
在宅復帰率(%)	一般病棟	79	83	78
	緩和ケア病棟	91	89	95
死亡率(%)	一般病棟	13	23	21
	緩和ケア病棟	56	65	66

2週間以内の退院サマリー作成率

- ・退院サマリー 入院経過や検査所見など入院中の治療内容を簡潔にまとめたもので、退院後速やかに作成されるものです。

$$\text{退院サマリー作成率(\%)} = \frac{\left(\begin{array}{l} \text{退院後2週間以内に退院サマリーが} \\ \text{作成された件数} \end{array} \right)}{\text{退院患者数}} \times 100$$

単位: %

		2021年度	2022年度	2023年度
医師	一般病棟	96	84	87
	緩和ケア病棟	81	80	68
看護師	一般病棟	99	95	99
	緩和ケア病棟	91	79	77

内視鏡件数

胃カメラ、大腸カメラの件数を示しています。

単位: 件

		2021年度	2022年度	2023年度
上部内視鏡検査	件数	1,296	1,366	1,298
	うち経鼻	1,162	1,227	1,138
下部内視鏡検査	件数	366	388	331
内視鏡 合計		1,662	1,754	1,629

治療目的内訳 単位:件

	2021年度	2022年度	2023年度
ポリープ切除術	14	91	62
粘膜切除	84	48	68
胃瘻造設術	1	8	9
止血術	11	10	12
異物除去	0	0	0
治療目的 合計	110	157	151

褥瘡件数

・褥瘡 寝たきりなどによって、同じ場所にずっと体重がかかり圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ることで、皮膚が損傷することです。

・発生率 院内で新規に(d2以上の)褥瘡発生した割合を示しています。

$$\text{発生率(\%)} = \frac{\left[\begin{array}{l} \text{d2(真皮までの損傷)以上の} \\ \text{院内新規褥瘡発生患者数} \end{array} \right]}{\text{入院患者延数}} \times 100$$

・保有率 入院している患者の中に褥瘡を保有している割合を示しています。

$$\text{保有率(\%)} = \frac{\text{保有する患者数}}{\text{入院患者数}} \times 100$$

※持ち込みの褥瘡を除外する。

①入院時すでに褥瘡保有が記録されていた患者の入院日数は除外する。

②計測対象期間より前に褥瘡の院内発生が確認され、継続して入院している患者の入院日数は除外する。

③入院時刻から24時間以内に発生した褥瘡は院内発生とみなさない

④日帰り入院患者、同日入退院患者は除外する

(分母)上記①～④は除外する

(分子)院内新規褥瘡があった患者を抽出する。

DESIGN-R2020のd2(真皮までの損傷)以上の患者を分子とする。

計測対象期間中に再発や異なる部位に発生した場合でも1とカウントする。

単位:%

	2022年度	2023年度
発生率	3	3.4
保有率	14.5	15.2

※2022年度より、医療の質可視化プロジェクトと同じ集計方法に変更

リハビリテーション患者実績

理学療法士、作業療法士が行った年間のリハビリテーション新規・終了患者数、算定別数を示しています。

単位：人

		2021年度	2022年度	2023年度
新規患者数	全体	242	420	450
	うち緩和ケア病棟	164	188	195
終了患者数	全体	250	424	436
	うち緩和ケア病棟	175	189	186

算定別(1単位=20分)

		2021年度	2022年度	2023年度
脳血管疾患	延人数(人)	209	242	241
	延単位数(単位)	464	448	399
廃用症候群	延人数(人)	200	600	499
	延単位数(単位)	403	868	733
運動器	延人数(人)	39	85	81
	延単位数(単位)	99	134	144
呼吸器	延人数(人)	373	342	316
	延単位数(単位)	706	497	499
がん	延人数(人)	267	751	757
	延単位数(単位)	491	1,291	1,318
緩和ケア病棟	延人数(人)	2,901	2,820	2,671
	延単位数(単位)	5,966	4,514	4,269

栄養指導件数

糖尿病・腎臓病・心臓病・高脂血症・高血圧・肝臓病などの日々の食事について管理栄養士が指導した数を示しています。

単位：件

		2021年度	2022年度	2023年度
栄養指導	外来	42	23	27
	入院	0	0	0
	訪問	0	0	0
合計		42	23	27

カルテ開示件数

診療の過程で得られた、患者さんの身体状況、病状、治療等の情報をカルテ等での開示で提供した数を示しています。

単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度
開示件数	5	5	4

検診件数

市町村で行われている各検診の数を示しています。

単位：件

	乳がん	大腸がん	胃がん	肺がん	前立腺がん	肝炎ウイルス	結核	一般健診
東松山市								
2021年度	367	98	98	-	-	-	-	-
2022年度	357	96	140	-	-	-	-	-
2023年度	385	102	137	-	-	-	-	-
吉見町								
2021年度	158	136	130	31	69	12	197	-
2022年度	156	170	173	49	83	19	191	-
2023年度	151	193	188	229	87	23	-	-
川島町								
2021年度	18	41	40	48	24	3	-	2
2022年度	30	68	61	70	36	7	-	2
2023年度	30	83	88	84	38	11	-	2
滑川町								
2021年度	106	-	-	-	-	-	-	-
2022年度	115	-	15	-	-	-	-	-
2023年度	105	-	12	-	-	-	-	-
嵐山町								
2021年度	15	4	3	7	-	-	-	-
2022年度	31	5	9	5	-	-	-	-
2023年度	23	10	7	8	-	-	-	-
鳩山町								
2021年度	5	-	2	-	-	-	-	-
2022年度	14	-	2	-	-	-	-	-
2023年度	7	-	5	-	-	-	-	-
ときがわ町								
2021年度	15	-	-	-	-	-	-	-
2022年度	18	-	-	-	-	-	-	-
2023年度	14	-	-	-	-	-	-	-
小川町								
2021年度	9	-	-	-	-	-	-	-
2022年度	2	-	-	-	-	-	-	-
2023年度	9	-	-	-	-	-	-	-
東秩父村								
2021年度	3	-	-	-	-	-	-	-
2022年度	5	-	-	-	-	-	-	-
2023年度	2	-	-	-	-	-	-	-
合計								
2021年度	696	279	273	86	93	15	197	2
2022年度	728	339	400	124	119	26	191	2
2023年度	726	388	437	321	125	34	0	2

※「-」は実施無し

市町村で行われている認知症検診の数を示しています。

単位:件

	2021年度	2022年度	2023年度
東松山市	34	40	37
吉見町	18	18	20
鳩山町	0	1	1
小川町	0	0	0
川島町	-	9	6
合計	52	68	64

人間ドックの数を示しています。

単位:件

	件数(うち助成金使用)					
	2021年度		2022年度		2023年度	
東松山市	153	(131)	174	(158)	159	(148)
吉見町	43	(32)	35	(27)	34	(27)
川島町	16	(16)	19	(19)	6	(0)
滑川町	4		3		9	
嵐山町	1		0		0	
鳩山町	2		2		1	
ときがわ町	0		0		1	
小川町	2		0		1	
東秩父村	0		0		0	
その他市町村	9		8		5	
合計	230	(179)	241	(204)	216	(175)

救急医療に関する指標

第二次救急告示病院(救急指定病院)として救急搬送の受入を行っています。

- ・受入 救急搬送受入の数を示しています。
- ・一時受入 一時受入の数を示しています。
- ・不可 救急搬送不可の数を示しています。
- ・応需率 救急搬送の受入率を示しています。

$$\text{応需率(\%)} = \frac{\text{受入数}}{\text{救急要請数}} \times 100$$

	2021年度	2022年度	2023年度
受入(件)	239	352	468
一時受入(件)	3	6	14
不可(件)	192	240	226
応需率(%)	55.5	59.5	67.4

入院緩和ケアに関する指標

緩和ケアとは、病によって窮地に立つ患者さんご家族が、一日一日を心穏やかに過ごし、人生という旅路を平安に生き抜くことを支えるケアです。

人間としての尊厳を保ち、身体の苦痛をやわらげ、心の苦しみと悲しみを共に担い、喜びあるいのちを大切にします。

・平均年齢

該当病棟入院患者さんの平均年齢を示しています。

単位：歳

	2021年度	2022年度	2023年度
平均年齢	73	75	75

・悪性腫瘍臓器別分類

当該病棟において、がん罹患数を臓器別に分けた数を示しています。

単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度		2021年度	2022年度	2023年度
胃	25	40	51	歯肉	2	0	1
肺	50	80	73	舌	3	1	7
食道	9	11	11	皮膚	3	3	9
膵臓	35	40	65	外耳道	3	0	0
肝臓	7	19	18	外陰	0	3	2
胆管	13	19	24	小腸	-	-	3
胆のう	4	10	2	尿管	2	1	7
腎臓	3	10	5	扁桃	-	-	1
膀胱	15	1	9	悪性リンパ腫	8	2	27
結腸	18	39	47	軟部組織	0	17	0
直腸	20	42	23	脳	0	3	4
十二指腸	4	9	2	咽頭	5	20	14
盲腸	2	4	4	喉頭	0	0	1
胸腺	-	-	3	口腔	3	4	2
前立腺	8	9	4	肛門	2	1	0
甲状腺	2	1	3	胸膜	2	2	0
腹膜	2	4	2	神経	-	-	1
乳房	27	26	23	腎盂	1	1	3
子宮	11	18	13	上顎	0	1	0
卵管	1	0	0	口蓋	0	1	0
耳下腺	0	1	0	声門	0	1	0
顎下腺	0	4	1	白血病	0	1	4
多発性骨髄腫	-	-	3	脊髄	-	-	1
骨髄異形成症候群	-	-	2	骨	-	-	1
下垂体	-	-	1	原発不明	2	3	0
卵巣	17	14	22	合計	309	466	499

在宅医療に関する指標

当院は、在宅療養支援病院として、患者さんが住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるよう、求めに応じ24時間在宅医療が可能な体制を確保し、緊急時に在宅で療養を行っている患者さんが直ちに入院できるなど、必要に応じた医療を提供できる病院です。

訪問診療、往診を行った回数を示しています。

- ・訪問診療 通院困難な患者さんのご自宅等に、医師が定期的に訪問診察することです。必要に応じて臨時往診や入院先の手配などを行います。
- ・往診 患者さんからの依頼に基づき、急変時・緊急時に自宅を訪問し、診察することです。

単位:回

	2021年度	2022年度	2023年度
総数	2,785	3,146	3,059
訪問診療	2,203	2,514	2,533
往診	582	632	526
うち緊急	199	198	174

- ・在宅医療看取り 訪問診療・往診を行っている患者さんの看取り件数を示しています。

単位:人

		2021年度	2022年度	2023年度
看取り数	自宅	123	116	102
	施設	45	33	67
	当院	95	137	131
	他院	36	30	13
合計		299	316	313

※在宅療養支援病院に係わる報告書をもとに算出

自宅で看取りを行った地域を示しています。

単位:人

	2021年度	2022年度	2023年度		2021年度	2022年度	2023年度
東松山市	39	40	37	寄居町	1	2	1
鳩山町	5	6	2	鴻巣市	8	16	11
吉見町	12	10	4	坂戸市	3	4	1
嵐山町	6	5	4	鶴ヶ島市	2	1	1
滑川町	3	3	5	行田市	5	3	4
小川町	7	7	10	北本市	1	0	0
東秩父村	0	0	0	越生町	1	2	0
川島町	14	11	11	加須市	0	0	0
ときがわ町	0	2	2	深谷市	0	0	0
川越市	2	1	1	毛呂山町	0	1	0
熊谷市	16	3	8	合計	125	117	102

・連携訪問看護ステーション市町村別事業所数

単位：事業所

	2021年度	2022年度	2023年度		2021年度	2022年度	2023年度
東松山市	9	9	9	鶴ヶ島市	1	2	1
行田市	4	6	6	北本市	2	1	1
鳩山町	1	1	1	寄居町	1	0	0
嵐山町	1	1	1	川越市	1	3	5
小川町	2	2	2	熊谷市	4	5	5
鴻巣市	5	4	4	ときがわ町	1	0	0
毛呂山町	1	1	1	深谷市	2	2	4
坂戸市	2	4	1	加須市	1	1	0
狭山市	1	2	0	川島町	3	3	3
所沢市	0	0	0	日高市	0	2	1
				合計	42	49	45

・主な訪問診療地域 東松山市 吉見町 川島町 滑川町 鳩山町 嵐山町 寄居町
ときがわ町 小川町 坂戸市 熊谷市 鴻巣市

地域連携に関する指標

- ・紹介率 他医療機関から紹介状を持参された人の割合を示しています。

$$\text{紹介率(\%)} = \frac{(\text{紹介患者数} + \text{救急患者数})}{\text{初診患者数}} \times 100$$

- ・逆紹介率 当院から他医療機関へ紹介した人の割合を示しています。

$$\text{逆紹介率(\%)} = \frac{\text{逆紹介患者数}}{\text{初診患者数}} \times 100$$

	2021年度	2022年度	2023年度
紹介患者数(人)	732	765	842
救急患者数(人)	207	355	476
初診患者数(人)	12,854	12,969	12,085
紹介率(\%)	7.3	8.6	10.9

	2021年度	2022年度	2023年度
逆紹介患者数(人)	1,375	1,550	1,695
初診患者数(人)	12,854	12,969	12,085
逆紹介率(\%)	10.7	12.0	14.0

- ・広報誌発行 当院の医療サービスや取り組み、実績などの情報を患者さんや地域の医療機関等へ発信しています。

	2021年度	2022年度	2023年度
発行回数(回)	4	4	4
広報誌発行部数(部)	2,700	2,200	2,400
配布施設数(施設)	396	396	595

検査に関する指標

COVID-19のPCR検査を外注・院内と行っています。

当院で検査した方の陽性率を示しています。

$$\text{陽性率(\%)} = \frac{\text{陽性者数}}{\text{検査人数}} \times 100$$

単位: 件

		2021年度	2022年度	2023年度
COVID-19 検査	外注PCR(件)	3,714	3,052	101
	院内PCR(件)	679	990	28
	抗原検査(件)	0	0	87
陽性者数(人)		721	2,304	17
陽性率(%)		16.4	57.0	7.8

※2023年度は4月のみ

検査科で行っている各検査の数を示しています。

単位: 件

	2021年度	2022年度	2023年度
心電図	2,303	2,617	2,612
腹部エコー	990	964	772
循環器エコー	637	796	668
表在エコー	1,068	1,024	1,202
ホルター心電図	74	80	58
呼吸機能	247	240	227
聴力	404	403	381
眼底検査	227	236	216
眼圧検査	227	235	215
脈波	182	171	157
院内血液検査	2,043	2,816	3,518
院内生化学検査	2,115	2,343	2,738

単位: 単位

	2021年度	2022年度	2023年度
交差適合試験	438	540	529

放射線科で行っている各検査の数を示しています。

単位: 件

	2021年度	2022年度	2023年度
一般撮影	3,293	3,469	3,649
マンモグラフィー	1,482	1,462	1,428
CT検査	2,051	2,083	2,049
胃造影	43	45	54
大腸造影	4	7	9
血管造影	38	34	38
他、造影	16	11	12
紹介用画像作成	527	479	477
遠隔画像診断	1,295	1,460	1,527

薬剤に関する指標

・薬剤管理指導

医師の同意に基づいて患者さんが薬を正しく使えるように、医師や看護師などと連携をとりながら、薬の効果、使い方、注意点などの説明を行っています。指導実施件数と内訳の数を示しています。

単位：件

		2021年度	2022年度	2023年度
薬剤管理指導	実施件数	423	614	621
内訳 (緩和病棟は除く)	管理指導1 ※1	18	36	18
	管理指導2 ※2	101	260	240
	麻薬	18	75	58
	退院	54	137	132

※1 特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射されている患者の場合

※2 管理指導1の患者以外の場合

・ジェネリック使用率

当院の入院で使用される全薬剤のうち、ジェネリック(後発医薬品)が占める割合です。

$$\text{ジェネリック使用率(\%)} = \frac{\text{後発医薬品の数量}}{(\text{後発医薬品のある先発医薬品の数量}) + (\text{後発医薬品の数量})} \times 100$$

$$\text{カットオフ値(\%)} = \frac{(\text{後発医薬品} + \text{後発医薬品のある先発医薬品})}{\text{全ての医薬品}} \times 100$$

単位：%

	2021年度	2022年度	2023年度
ジェネリック使用率	85.12	90.3	90.9
カットオフ値	73.24	65.46	66.72

医療安全に関する指標

・安全のための報告書件数

院内で発生した医療事故等の報告をできる限り収集し、対策を講じることで、重大な医療事故の発生を防いでいます。

単位: 件

	2021年度	2022年度	2023年度
報告書件数	474	575	591
医局	16	16	14
外来	67	52	56
緩和ケア病棟	173	124	117
一般病棟	53	153	144
透析	91	121	94
手術	0	0	0
救急外来	0	0	0
放射線	3	1	6
検査	3	0	1
リハビリ	10	7	10
薬剤	13	26	10
栄養	5	5	4
医事	16	27	20
訪問看護	23	43	114
相談室	1	0	1

・転倒転落件数

病院全体での転倒転落の件数を示しています。
原因や要因について分析等を行い予防策を講じて、防いでいます。

単位: 件

	2021年度	2022年度	2023年度
転倒転落件数	76	87	76
外来	1	0	0
緩和ケア病棟	50	33	31
一般病棟	18	46	41
透析	3	3	0
放射線	2	0	0
リハビリ	2	3	2
訪問看護	0	2	2

・入院中の転倒転落発生率・転倒転落による骨折発生率

入院している患者さんの中には年齢や病気の影響により転倒したり、ベッドなどから転落したりする可能性が高い方もいます。

原因や要因について分析等を行い予防策を講じて、防いでいます。

$$\begin{aligned} \text{転倒転落発生率(\%) } &= \frac{\text{入院中の転倒・転落件数}}{\text{入院延患者数}} \times 1,000 \\ \text{転倒転落による骨折発生率(\%) } &= \frac{\text{転倒転落件数による骨折件数}}{\text{入院延患者数}} \times 1,000 \end{aligned}$$

		2021年度	2022年度	2023年度
入院延患者数(人)	緩和ケア病棟	7,758	6,849	7,298
	一般病棟	2,662	6,646	7,250
	病棟全体	10,420	13,495	14,548
転倒・転落件数(件)	緩和ケア病棟	50	33	31
	一般病棟	18	46	41
	病棟全体	68	79	72
転倒転落発生率(%)	緩和ケア病棟	6.4	4.8	4.2
	一般病棟	6.8	6.9	5.7
	病棟全体	6.5	5.9	4.9
転倒転落件数による骨折件数(件)	緩和ケア病棟	0	0	0
	一般病棟	0	1	0
	病棟全体	0	1	0
転倒転落による骨折発生率(%)	緩和ケア病棟	0.0	0.0	0.0
	一般病棟	0.0	0.2	0.0
	病棟全体	0.0	0.07	0.0

・針刺し件数

院内で発生した針刺し事故の件数を示しています。

原因分析を行い、感染対策につなげています。

単位: 件

	2021年度	2022年度	2023年度
針刺し件数	3	39	2

感染に関する指標

・抗菌薬使用量

抗菌薬の使用量が増えることで薬剤耐性菌が選択されてしまう可能性もあり、抗菌薬の使用量やよく使われている抗菌薬の種類を把握し適正に使用しています。

・AUD値：抗菌薬使用密度。抗菌薬使用量の評価方法です。

$$\text{AUD値 (g/日} \times 1,000) = \frac{\text{抗菌薬使用量 (g)} \div \text{DDD (g)}}{\text{在院患者延数 (人)}} \times 1,000$$

・DDD：病院間での比較のため、抗菌薬使用量を標準化する目的で使用します。

	2023年度
在院患者延数(人)	13,744

<2023年度>

抗菌薬種類	一般名(販売名)	DDD(g)	使用量(g)	AUD(g/日 × 1,000)
ペニシリン系				38.98
	スルバクタム/アンピシリン	9	1,113	9.01
	ピペラシリン	14	28	0.15
	タゾバクタム/ピペラシリン	15.75	6,448.5	29.82
セフェム系第1世代				6.51
	セファゾリン	3	268	6.51
セフェム系第2世代				2.8
	セフメタゾール	4	154	2.8
セフェム系第3世代				38.1
	セフトリアキソン	2	1,046	38.1
オキサセフェム系(第4世代)				0.00
カルバペネム系				1.27
	メロペネム	3	52.5	1.27
アミノグリコシド系				0.00
マクロライド系				0.00
テトラサイクリン系				4.19
	ミノサイクリン	0.2	11.5	4.19
ホスホマイシン系				0.03
	ホスホマイシン	8	3	0.03
グリコペプチド系				0.4
	バンコマイシン	2	11	0.4
ニューキノロン系				5.24
	レボフロキサシン	0.5	36	5.24
その他				0.00

・インフルエンザ予防接種率

患者さんへの感染を防ぐため、職員へのワクチン接種を行っています。

$$\text{接種率(\%)} = \frac{\text{インフルエンザワクチン接種済人数(人)}}{\text{職員数合計(人)}※} \times 100$$

※接種を希望しない理由書を提出している者は含めない

単位：人

	2021年度	2022年度	2023年度
職員数合計	219	225	242
接種済	211	214	228
接種を希望しない理由書を提出している者	8	11	14

単位：%

	2021年度	2022年度	2023年度
接種率	100	100	100

認定看護師に関する指標

・認定看護師

高度化し専門分化が進む医療現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。

患者・家族によりよい看護を提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めています。

・緩和ケア認定看護師同行訪問件数

緩和ケアを専門に学んだ「緩和ケア認定看護師」が、担当の訪問看護師に同行してお宅を訪問し、療養のサポートをします。

専門知識を生かして、最期まで患者さんがその人らしく生きることを応援します。

単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度
同行訪問件数	12	3	4
＜地域別件数＞			
東松山市	2	0	1
川島町	3	0	1
小川町	2	0	0
熊谷市	2	0	0
鴻巣市	3	2	1
北本市	0	1	0
吉見町	0	0	1

・がん患者指導管理料

悪性腫瘍と診断された患者さんに対して

イ：医師が看護師と共同して診療方針等について話しあい文章等により提供を行った回数

ロ：医師又は看護師が心理的不安を軽減するための面接を行った件数

単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度
指導管理料イ	0	0	0
指導管理料ロ	0	0	0

その他の指標

患者満足度

・満足度調査 ご意見箱投書件数

当院が提供するサービスに対して、患者さんがどのように感じているかを把握し、その結果を反映していくことで、医療サービスの一層の充実を図るために実施しています。引き続き維持向上できるように努めていきます。

1) <入院> 調査人数 83名

単位：%

	とても満足	やや満足	ふつう	やや不満	とても不満
総合評価	85.5	9.6	4.8	0	0
医師による診療・治療内容	77.8	8.6	9.9	2.5	1.2
医師との対話	76.5	9.9	7.4	4.9	1.2
看護師	84.1	7.3	4.9	2.4	1.2
事務職員	64.4	23.3	11	0	1.4
その他のスタッフの対応	70.9	15.2	11.4	1.3	1.3
痛みや症状を和らげる対応	71.1	18.4	9.2	0	1.3
精神的なケア	65.4	21.8	10.3	1.3	1.3
プライバシー保護の対応	67.1	22.8	8.9	0	1.3
病室・浴室・トイレなど	69.2	19.2	10.3	0	1.3
食事の内容	47.7	29.2	18.5	3.1	1.5

2) <外来> 調査人数 39名

単位：%

	とても満足	やや満足	ふつう	やや不満	とても不満
総合評価	69.2	15.4	12.8	2.6	0
診察までの待ち時間	28.2	17.9	46.2	7.7	0
診察時間	38.5	15.4	41	5.1	0
医師による診療・治療内容	50	16.7	27.8	5.6	0
医師との対話	37.8	35.1	21.6	5.4	0
看護師	42.1	26.3	31.6	0	0
事務職員	33.3	25.6	38.5	2.6	0
その他のスタッフの対応	32.4	27	40.5	0	0
痛みや症状を和らげる対応	26.7	30	33.3	10	0
精神的なケア	37.5	25	28.1	9.4	0
プライバシー保護の対応	34.2	18.4	42.1	5.3	0

職員満足度

・やりがい度調査

全17項目の内容で調査。「そう思う」または「やや思う」と回答した割合を示しています。

$$\text{「そう思う」「やや思う」と回答した割合 (\%)} = \frac{\text{「そう思う」「やや思う」と回答した人数(人)}}{\text{全回答者数(人)}} \times 100$$

	2021年度	2022年度	2023年度
回答者数(人)	172	108	103
配布人数(人)	231	230	233
回収率(%)	74.0	46.9	44.2

<2022年度、2023年度>

単位:人 %

質問内容	2022年度		2023年度	
	人数	割合	人数	割合
職場の雰囲気や人間関係は良好だと思えますか？	77	71.3%	74	71.9%
現在の仕事にやりがいがあると思えますか？	81	75.0%	85	82.6%
現在の処遇条件(報酬や福利衛生)は満足だと思えますか？	34	31.5%	36	34.9%
現在の勤務条件(休日や勤務時間)は満足だと思えますか？	73	67.6%	67	65.0%
学習や成長の機会があると思えますか？	47	43.5%	58	56.3%
精神的な不安を感じずに仕事ができると思えますか？	45	41.7%	35	34.0%
仕事の成果や能力が適正に評価されていると思えますか？	40	37.1%	43	41.7%
あなたの上司を信頼できると思えますか？	80	74.1%	72	69.9%
これからも、この病院・施設で働きたいと思えますか？	74	68.5%	66	64.1%
病院・施設として、知人にすすめようと思えますか？	65	60.2%	56	54.3%

<2021年度 ※質問内容は2022年度・2023年度と異なる>

単位:人 %

質問内容	人数	割合
現在の仕事にやりがいを感じますか。	150	87%
現在の仕事が自分に向いていると思えますか。	135	78%
スキル・能力が身につく仕事だと思えますか。	146	85%
現在の仕事に意義や価値を感じますか。	147	85%
能力や仕事への姿勢、成果は正当に評価されていると思えますか。	119	69%
悩み、要望を聞いてくれる上司や仲間が周りにいますか。	144	84%
自分の業務が社会や病院のためになっていると感じますか。	151	88%
職場の方針や業務の進め方の決定に参加する機会があると思えますか。	103	60%
自由に意見や提案ができるなどみんなが協力し合う雰囲気があると思えますか。	115	67%
ハラスメント(セクハラ・パワハラ)は許されないという認識が浸透していると思えますか。	117	68%
職員に必要な情報が確実に伝えられていますか。	104	60%
仕事内容や責任に見合った給与を受けていると思えますか。	112	65%
現在の昇任の仕組みは適切なものだと思えますか。	107	62%
有給休暇など、お休みは取得しやすいですか。	138	80%
自身の人事異動(配置)に満足していますか。	140	81%
福利厚生は充実していると思えますか。	86	50%
これからもシャロームで働きたいですか。	149	87%

- ・離職率 働きやすく、かつ定着を促進する環境づくりに努めています。
当院部署ごとの離職率を示しています。

	2021年度		2022年度		2023年度	
	離職率 (%)	退職者数(人) 職員数(人)	離職率 (%)	退職者数(人) 職員数(人)	離職率 (%)	退職者数(人) 職員数(人)
医師	9	1 11	0	0 11	9	1 11
看護師 常勤	10	6 62	6	4 65	12	8 67
看護師 非常勤	26	7 27	5	1 21	0	0 24
事務 常勤	18	6 34	6	2 34	3	1 37
事務 非常勤	10	2 20	12	3 26	22	7 32
医療技術者 常勤	5	1 21	0	0 21	4	1 23
医療技術者 非常勤	67	2 3	0	0 1	0	0 1
医療福祉相談室 常勤	0	0 3	0	0 3	0	0 3
チャプレン	0	0 1	0	0 1	0	0 1
ヘルパー 常勤	6	1 17	18	3 17	5	1 20
ヘルパー 非常勤	13	1 8	14	1 7	40	2 5
全体	13	27 207	7	14 207	10	21 221

- ・有給消化率 当院部署ごとの有給消化率を示しています。

	2021年度		2022年度		2023年度	
	消化率 (%)	使用日数(日) 付与日数(日)	消化率 (%)	使用日数(日) 付与日数(日)	消化率 (%)	使用日数(日) 付与日数(日)
医師	24	84.5 345	26	81.5 317	38	114 298
看護師 常勤	47	835 1,758	54	988 1,839.5	66	1,204 1,813
看護師 非常勤	64	232.5 362.5	56	156 279	64	224 352.5
事務 常勤	46	397 872.5	49	464.5 944	45	456 1,006
事務 非常勤	73	180 245	62	171 278	62	243 394
医療技術者 常勤	44	276 624	50	321 642.5	54	362.5 677.5
医療技術者 非常勤	81	50 62	76	13 17	61	11 18

	2021年度		2022年度		2023年度	
	消化率 (%)	使用日数(日) 付与日数(日)	消化率 (%)	使用日数(日) 付与日数(日)	消化率 (%)	使用日数(日) 付与日数(日)
医療福祉相談室 常勤	44	41 93	47	47 100	46	49.5 108
チャプレン	50	20 40	89	35.5 40	29	7 24.5
ヘルパー 常勤	53	278.5 524.5	52	272.5 525.5	55	297 537
ヘルパー 非常勤	67	74 111	66	54 81.5	77	67 87.5
全体	49	2,468.5 5,037.5	51	2,604 5,064	57	3,034.5 5,315.5

予防医療

・職員喫煙率

自らの健康への配慮も十分に行う必要があり、病院敷地内禁煙が強く求められ、当院でも実施しています。
当院職員の喫煙者数を示しています。

$$\text{喫煙率(\%)} = \frac{\text{喫煙者数(人)}}{\text{職員数(人)}} \times 100$$

(回収率100%)

	2021年度	2022年度	2023年度
総数(人)	220	219	231
喫煙者数(人)	5	6	6
喫煙率(%)	2.3	2.7	2.6

・職員健康診断受診率

職員の安全と健康を確保するために、労働安全衛生法により、全職員に実施することが義務付けられています。
当院職員健康診断を受けた数を示しています。

$$\text{受診率(\%)} = \frac{\text{健診受診者数(人)}}{\text{職員数(人)} ※} \times 100$$

※休職者を除く

	2021年度		2022年度		2023年度	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
総数(人)	187	60	234	61	275	59
受診者数(人)	184	59	232	61	275	59
休職者数(人)	3	1	2	0	0	0
受診率(%)	100	100	100	100	100	100

*2回目対象者: エクセルバッジ保持者、夜勤者、
エチレンオキサイトガス使用者

研修生受入

・研修生受入件数

当院は、未来を担う医師、看護師、コメディカルを育成していくことも大切な役割の一つと考えております。年間を通して様々な研修生を受け入れています。

単位：人

2021年度 所属	人数
障害者雇用に向けた職場実習	1
埼玉医科大学 看護部4年生	4
埼玉医療福祉会看護専門学校 看護師	6
埼玉医科大学医学部 6年生	7
(株)カネカメディックス東京第二営業所 血液浄化チーム	1
メキシコより国際留学生	1
清泉女学院大学	1
合 計	21

単位：人

2022年度 所属	人数
障害者雇用に向けた職場実習	1
埼玉医療福祉会看護専門学校 看護師	6
埼玉医科大学医学部 4年生	1
埼玉医科大学医学部 6年生	2
埼玉医科大学病院 研修医	3
合 計	13

単位：人

2023年度 所属	人数
東京農業大学第三高等学校附属中学校 (社会体験チャレンジ事業)	2
埼玉医科大学 看護部4年生	4
埼玉医療福祉会看護専門学校訪看実習	6
東京聖書学院 (教員・学生)	6
埼玉医科大学医学部 6年生	3
埼玉医科大学病院 (研修医)	4
合 計	25

活動報告

- 【訪問看護ステーションシャローム】
- 【介護支援事業所シャローム】
- 【ヘルパーステーションシャローム】

訪問看護ステーション



概要

病気や障害をお持ちの方や高齢者の方などが、住み慣れたお家で安心して生活して暮らしていただけるように医療・介護サービスと連携を図りながら援助しています。

利用者様の主治医(かかりつけ医)の指示に従い、病状の観察・清拭・入浴介助・洗髪・食事や排泄などの介助や指導・医療機器の管理・床ずれの処置や手当の指導・内服薬の相談や残薬の確認・点滴やカテーテル管理(胃ろう・尿留置カテーテル)・理学療法士によるリハビリ・ターミナルケア(がん末期や終末期を自宅で過ごせるように支援)など、経験を積んだ看護師が、スタッフ同士皆で横の連絡も常に行いながらご自宅に訪問しケアを行っています。

職員

2024年3月31日現在

管理者	1名
正看護師	11名(常勤:6名(管理者含む) 非常勤:5名)
理学療法士	2名(常勤)
事務員	1名(常勤)

2023年度目標

1. 温かい質の高い看護・リハビリを提供

- 1) 本人やご家族の気持ちを尊重し、信頼関係を作りながらそれぞれの生活の場にあった住み慣れたお家で生活して暮らしていただけるように優しく温かい質の高い看護・リハビリを提供する

2. 人材育成と業務達成度の向上

- 1) 密な報告・連絡・相談が常に行われ、業務の達成度の向上を図っていく
- 2) 院内外の研修に参加・共有し、職員のケアの質の向上を図っていく

3. 関係医療機関との連携

- 1) オンラインやMCSを積極的に活用し、地域や関係医療機関と連携を図りながら地域に密着したステーションとなる

4. 働き続けられる職場作りを

- 1) 働き方改革を念頭に置き、風通しがよくスタッフ皆が無理なく働ける職場へ

5. 看護学生と共にわれわれも看護の感性を高めていく

- 1) 看護学生の実習を受け入れを行い、将来の仲間としてすべての学生が安全に無事故で当訪問看護ステーションの実習を終了することが出来る

6. COVID-19 感染対策の強化を行っていく。

目標の達成・反省

- ①新規利用者数は48人。職員の体制などで昨年より大幅に減少しました。院内外の方々よりご相談がありましたが、ステーションの職員体制でお受け出来なかった方々もおられました。ご自宅での看取りは13人。心をこめてご家族の方とともに一緒にケアさせていただきました。今後も在宅生活の中で安心して過ごしていただけるように他職種と連携し支援していきます。
- ②埼玉医科大学保健医療学部（4年生）看護学生は、5月から6月まで6名の実習生を受け入れました。コロナ感染症5類となり感染対策しつつ安全に実習を終了する事ができました。スタッフ全員振り返りを行い次年度の実習につなげていきます。
- ③ステーション内の研修は出来ませんでしたが、病院内研修・各委員会の研修には積極的に参加し、日々のケアの向上に常に学んでいきたいと思えます。
- 2020年4月より理学療法士2名、看護師11名、事務1名にて計14名で運営しています。MCS（メディカルケアステーション）の活用を行い、また紙カルテから2021年9月よりタブレットを活用し記録管理をはじめ、各自がタブレットを持参し、訪問先や移動中の隙間時間など職員間の情報を効率よく順調に行えております。今後も報告・連絡・相談を密に行い他職種と連携を図り、皆が一つの同じ方向性で進めるようにまた、これからも風通しの良い職場にしていきたいと思えます。新型コロナウイルスも5類となり日々の感染症対策を行いつつ支援してまいりました。引き続き感染症対策を行いつつ安全に支援できますようにスタッフ一丸となりケアを行って参ります。また、今年度は、職員1名の退職がありました。次世代の看護師の募集をかけつつ、よりよい支援ができるよう職員みな健康管理を気をつけてまいります。スタッフ一同でシャローム病院の理念に寄り添いながらやさしく温かい医療に努めていきたいと思えます。

実績

*新規状況（2023年4月1日から2024年3月31日）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023	2022
新規	7	4	8	4	6	3	9	3	1	0	1	0	46	66
介護	1	2	6	2	4	2	5	1	1	0	0	0	24	43
医療	6	2	2	2	2	1	4	2	0	0	1	0	22	23

*訪問看護 在宅看取り数（2023年4月1日～2024年3月31日）

（単位：人）

在宅看取り人数	42
自宅	13
病院・施設	29

*2023年度 看護学生実習生（2023年5月7日～2023年6月27日）

埼玉医科大学保健医療学部看護学科 4年生 6名（在宅看護学実習）

介護支援事業所



概要

介護保険サービスのご利用者様の相談窓口です。ご利用者様の要望や心身の状態に合わせ、医療サービス、市町村、地域包括支援センター、介護サービス事業者との連携を図り、安心して日常生活が送れるよう支援しています。利用者様の有する能力に応じ自立した日常生活を送ることができるよう配慮し、ケアプランを作成します。

また、利用者様のご自宅へ毎月定期的に訪問し、新たな相談事はないか確認させていただいています。

入院中の患者様（要介護者）やご家族へ、退院後の介護サービス計画を提示することで安心して在宅への移行ができるように支援しています。

職員

管理者		1名（介護支援専門員兼務）
介護支援専門員	常勤	4名（主任ケアマネ4名）
	非常勤	1名
基礎資格	看護師	1名
	介護福祉士	4名
事務員		1名

2023年度目標

【事業方針】***重点目標***

「利用者本位」「自立支援」を基本に、法令を順守し適正な事業運営を実施いたします。

さらに職員の資質向上や職業倫理の向上を目指します。

- *医療と介護の多職種で連携を図り、一人の利用者を大切にされた質の高い支援を提供。
- *在宅療養を希望する癌終末期の利用者が、安心して自宅で過ごすことができるよう迅速な対応・きめ細やかな支援を心がける。
- ・週1回のミーティングで情報を共有し、チームワークを図りながらより良いサービスに繋げていく。
- ・適切な情報収集をし、引き続き新型コロナウイルスの感染予防に努める。

目標の達成・反省

- ・それぞれが持てる力を十分に発揮し、協力し合いながら支援することで例年とほぼ同様の利用者実績を維持することが出来ている。
 - ・新型コロナウイルス等の感染予防の対策について、引き続き在宅勤務を導入し柔軟な動きを取り入れることで、感染リスクを下げつつ臨機応変な対応をすることができた。実際に部署内職員や同居家族に体調不良者が出た際に休みではなく、在宅勤務とすることで利用者、家族に負担をかけることなく必要な支援を継続することが出来た。
- また、在宅勤務を導入する中で定期的に見直しを行い、それぞれが意見を出し合い改善点を見つけながら取り組むことが出来た。

参加研修の内容

- ・ケアマネジメント従事者研修
- ・介護支援専門員レベルアップ研修
- ・認知症、医療研修
- ・高齢者虐待防止研修
- ・在宅医療と介護の連携
- ・地域包括ケアシステムについて
- ・緩和ケア研修
- ・事例検討会

以上は研修内容の一部ですが、研修に自発的に参加し個々でスキルアップを図っております。特に医療と介護の連携については今後の課題となるためこれからも新しい知識を習得し日々の業務に活かしていきます。

実績

2023 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数(継続)	160	157	155	156	158	161	164	163	165	164	162	164	1929
契約者数(新規)	5	4	4	7	5	7	4	5	3	3	6	9	62
契約終了者	6	3	4	5	3	5	3	2	3	2	6	10	52
計	159	158	155	158	160	163	165	166	165	165	162	163	1939

※ケアマネ一人の担当件数には制限があります。

毎月新規利用者様の電話相談、窓口相談、医療相談員からの相談等が多数あります。

入院・入所・死亡等により毎月のご利用者様の増減の変化も多いことが当事業所の特徴です。

※その他実績としては相談業務以外にご利用者様の申請等に係る代行を市町村に行います。

ヘルパーステーション



概要

介護保険（訪問介護・通院等乗降介助）
生活サポート（在宅介護・送迎・外出援助）

職員

管理者	1名	
サービス提供責任者	2名	
訪問介護員	12名	{ 介護福祉士 10名 ヘルパー2級 2名
事務員	1名	

2023年度目標

- ご利用者様の「想い」を叶える
 - ご利用者様の心身の特性を踏まえ、能力に応じた日常生活の援助を行います
 - 緩和ケアでは、病院と連携を図り体制を整え迅速かつ丁寧な対応を心がけ、ご利用者様とご家族の気持ちに寄り添います
- 関係市町村・地域の保険・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めます
- スタッフの質の向上を図ります
 - ベテランヘルパー…サービスの基本再認識・経験を生かしての指導・助言・同行に務める
 - 経験の浅いヘルパー…学びながら少しずつ力量を上げ、サービス提供に努める
- 感染対策の継続
 - 感染対策の基本を再確認し継続に努める
- ステーション経営の努力
 - 各自、稼働時間の拡張に心がけ収入増に繋げる
 - 選んでもらえる事業所になる

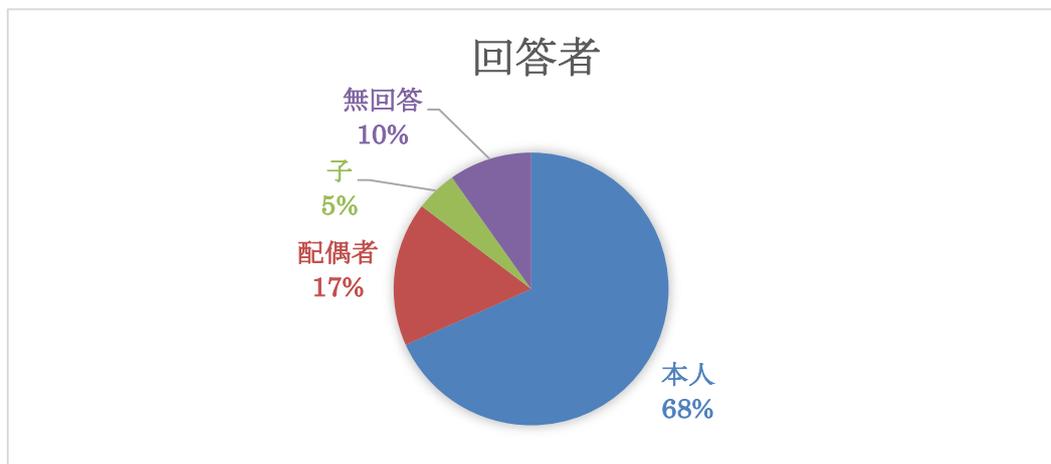
目標の達成・反省

1. 利用者様とコミュニケーションを深めながら調理を行うことで、意欲の向上さらに前向きな生活を送ることができました。
今後ご本人のできる部分を尊重しながら関わっていかれたらと思います。
シャローム病院との連携により、一時退院の利用者様の在宅生活を支援、ご本人はもちろんご家族の不安な気持ちに寄り添うことができました。
2. MCS の活用により、利用者様の心身の変化など新しい情報を瞬時に受け取ることで様々な職種の情報を得ることができました。
ヘルパーの報告により必要な情報を、ヘルパーステーションからも発信していきたい。
3. すべてのヘルパーがお互いに意見交換を行うことで共に向上することができた。更に安心して長く働き続ける事ができる環境、働きやすい職場を目指してまいります。
4. ステーション内や訪問先で感染することもなく、感染対策維持ができました。
5. ベテランヘルパーが多い中それぞれの事情もあり、残念ながら大幅な訪問時間拡張とはいかなかった。しかし、2024年4月1日～登録ヘルパー男性入職 何年振りかの新しいスタッフです。男性ヘルパーは初めてのケースなので、訪問先である利用者様の理解を求めお話するのですが、難色を示す方も多くとても残念です。しかし、新規利用者様中心に訪問件数を増やし生活サポート送迎も含め、地道に収入増に繋げていきたい。

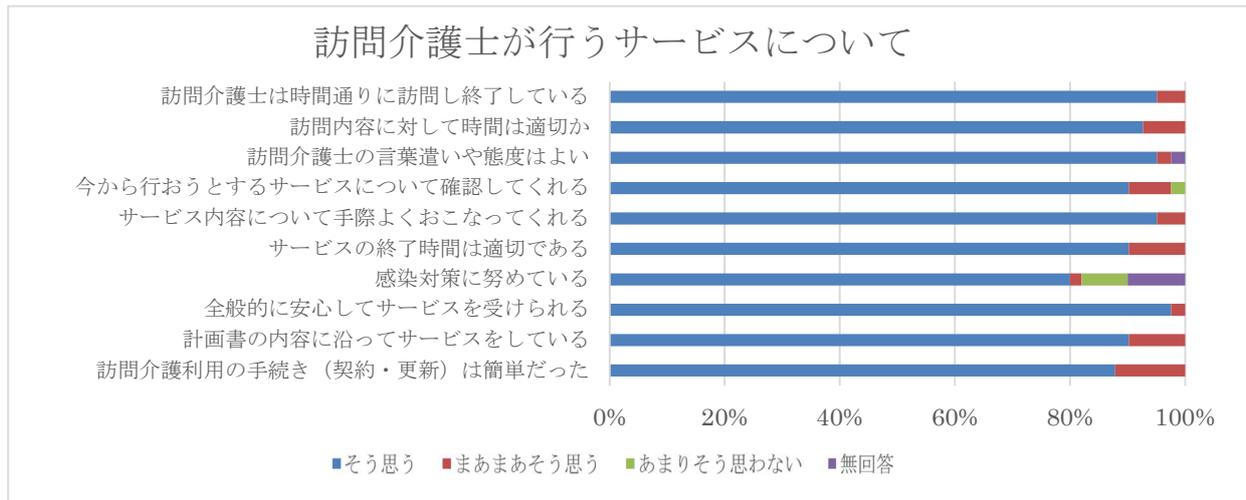
実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用者	48	46	44	46	43	46	46	52	52	49	49	49	570
介護保険利用者(新規)	1	1	0	4	2	2	5	2	1	0	2	1	21
介護保険終了者	1	5	0	2	2	1	4	1	1	0	3	2	22
生活サポート利用者	13	9	10	15	10	11	13	13	8	13	13	14	142

サービスに関するアンケート



訪問介護士が行うサービスについて



【事業所へのご意見】

○よくやって頂いています。

○私が思っている以上に良くやってくれています。
ありがとうございます。

○サービスという言葉は嫌い。お金を払っているのだから。
サービスという言葉以外の言葉を使って欲しい。

○ヘルパーステーションのケアマネさん、ヘルパーさん、大変お世話になりまして、ありがとうございます。近くに居ました実姉夫妻達も、最後まで手伝ってくださった事を感謝致します。ですから、私もお願いするときは是非シャロームヘルパーさんにとお願いがかないましたこと嬉しく思っております。

親身になって相談してくれますし、ヘルパーさんお二方も親切に、一生懸命働いてくださるので大変感謝しております。昨年からの身体状況だと、週2回訪問してくださるので大変心強く又安心感がとても大きいです！！本当にありがとうございます。今後も宜しくお願い致します。

○適切な介護に感謝しております。また適時、豊富な経験からのアドバイスを頂く等、心身ともに助けられています。

○1人暮らし老人が心地よく安心して、信頼できるヘルパーさんにめぐり合え幸せに思います。国が制度の見直しをすすめています、ヘルパーさんの待遇をもっとよくして働きがいのある条件をつくってあげて欲しいです。それは、私たち支援を受けている者にとっても幸せにつながる事ですから。

○いつも、親切に対応していただき本当にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

○きちんとやってくれています。満足しています。ご苦労様です。

シャロームにつさい医院

医 院 概 要

シャローム病院の分院として 2011 年 4 月に坂戸市に開院。

診 療 科 目

内科、神経内科、胃腸内科、頭痛外来、もの忘れ外来、女性外来、禁煙外来、
訪問診療、往診、その他各種健診、予防接種

機 器

レントゲン、超音波検査、心電図、上部および下部内視鏡

職 員 数

(2024 年 3 月 31 日現在)

職種	常勤	非常勤
医師	1	2
看護師	1	4
臨床検査技師		1
事務職員	2	1

診 療 実 績

1. 患者数

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
外来患者数	9040	7861	9935	9685	8366

2. 訪問患者数

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
訪問患者数	7	6	2	2	1
年間訪問患者延べ人数	106	41	23	18	8

3. 超音波検査

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
超音波検査	242	237	256	209	121

4. 内視鏡検査

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
上部内視鏡	174	141	170	173	180
下部内視鏡	50	39	32	35	38

5. 人間ドック

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
人間ドック受診者数	18	10	12	12	10

2023 年度をふりかえって

光熱費や人件費の高騰に伴い、以下のように経費削減に努めた。

- ・ レセプト点検を月半ばから数回に分けて行うことにより事務のレセプト残業を 0 時間に抑えることができた。
- ・ 患者予約を従来の予約機から電子カルテに搭載されている機能に変更することで毎月発生していた 9,900 円、年間で 118,800 円の削減ができた。

医療法人社団シャローム

